

夏井川河口部の治水対策について

様式2



福島県いわき建設事務所
河川砂防課 主査 西山純央

～河口閉塞により逆流する河川への対策～

施工場所:いわき市平下神谷字沢帯地内外

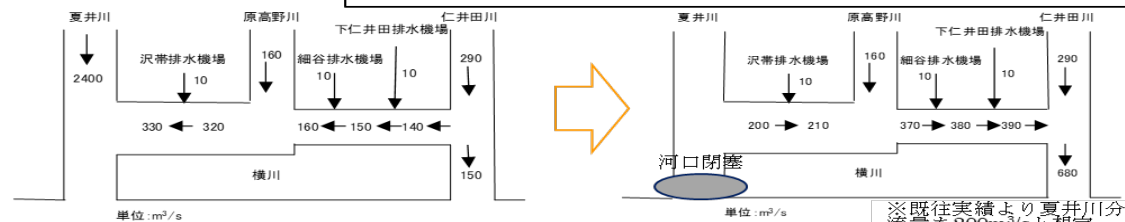
1. はじめに

- ・夏井川は、田村市滝根町の阿武隈山系に源を発し、小野町を経ていわき市で太平洋に注ぐ、流域面積748.6km²、法指定区間67.1kmの二級河川である。また、その支川 仁井田川は、いわき市北部を流下し、太平洋への河口部を有しながら、通称 横川と呼ばれる区間を経て、夏井川河口付近で合流する法指定区間25.5kmの河川である。
- ・平成18年以前の仁井田川は河口部が砂州で閉塞されており、仁井田川の水は横川から夏井川河口部を経て太平洋へと注ぐ流れであった。しかし、平成18年の台風以後、仁井田川の河口砂州がフラッシュし、夏井川河口部が砂州で閉塞する状況となり、夏井川の水が横川を逆流し、仁井田川河口部から太平洋へ注ぐ流れとなった。



流れ方向の変化

- 仁井田川の計画では、横川は夏井川に向かって流下する
- 現在、仁井田川河口閉塞の解消、夏井川河口閉塞の形成により、背水の影響を受け横川の流は仁井田川に向かって流下する



横川の流れ方向の変化 (仁井田川暫定計画規模)

2. 河口閉塞対策の経緯

2008.3.25

(締切堤完成)



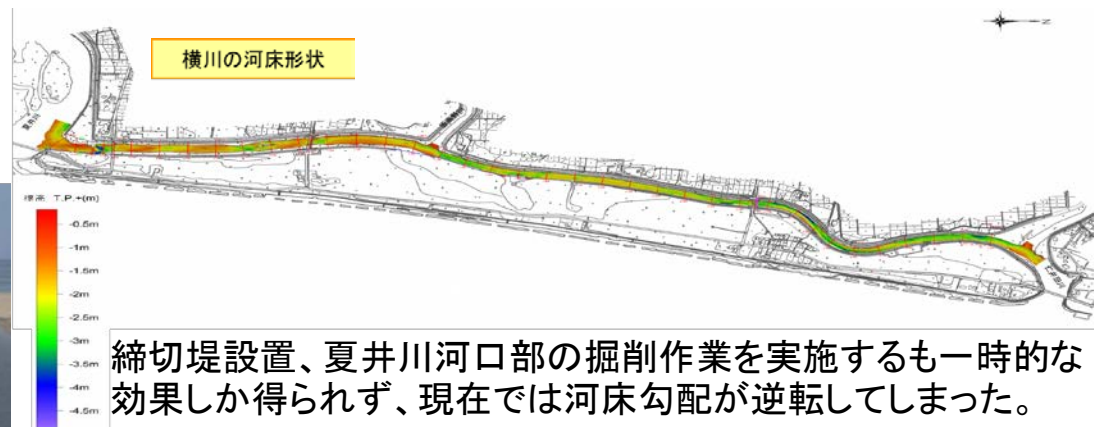
2008.5.27

太平洋



夏井川河口は閉塞
(掘削作業中)

横川の河床形状



3. 有識者による検討会の設立

- ・平成23, 24年の浸水被害、更には平成28年8月の台風9号により発令された避難勧告を受け、夏井川河口部の抜本的な治水対策が求められ、有識者による技術検討会設立を検討。
- ・平成29年度に「夏井川河口部治水対策技術検討会」を発足し、4名の委員による計4回の検討会を開催した。

4. 検討会での検討・治水対策

- ・平成29年4月の第1回検討会では委員委嘱後、現地調査を実施し、課題を共有。第2回検討会からは一般公開により、調査・検討項目の立案、治水対策の目標設定、対策工の抽出を行い、治水対策案を検討、治水対策の方針を決定し、全委員の承認を受けた河口部治水対策を構築した。



【検討会の実施状況】

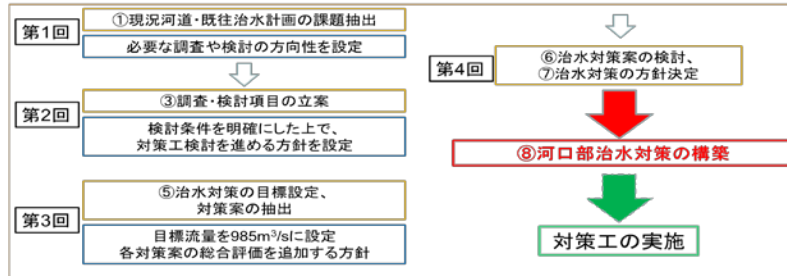
5. おわりに

委員の皆様には御多用の中、複数回にわたりいわきへ足をお運びいただき、対策方針決定へご尽力賜りましたこと厚く御礼申し上げます。今後は一日も早い対策工の着手、完成を目指して努力して参ります。

近年の河口部浸水実績(H23.9.21, H24.6.20)



	平成28年度	平成29年度
	第1回(4/11)	第2回(7/4)
○治水対策の目標設定	①河川特性の整理、治水計画での課題抽出 ②検討会（現地調査：河川状況の問題点・課題の抽出） ③調査・対策検討の立案 ④第2回検討会（治水対策検討項目の提案） ⑤治水計画の策定、目標設定、対策工の検討	⑥治水対策案の検討、 ⑦治水対策の方針決定
○治水対策の構築	⑧治水対策の方針決定 ⑨治水対策案の抽出	⑩治水対策案の抽出 ⑪治水対策案の抽出



6. 対策案のまとめ

